

日本資本主義の発展は、明治維新以後、急速な進歩を遂げ、今日に至るまで、世界に先んじて工業革命を完成し、高度の経済成長を達成した。この発展の背景には、資本主義の導入と、それに伴う社会改革の遂行があった。明治政府は、欧米列強の模倣を通じて、国家の近代化を推進し、資本主義の発展を促進した。この過程で、労働者の地位は徐々に向上し、労働法が制定され、労働組合の結成が認められた。また、教育の普及により、労働者の知識と技能が向上し、生産性の向上に貢献した。

日本資本主義の発展は、労働者の権利の向上と、社会正義の実現を促進した。労働者は、より良い労働条件を要求し、賃金の向上を求めた。労働法は、労働者の権利を保護し、労働争議の解決を促進した。労働組合は、労働者の利益を代表し、労働条件の改善を求めた。また、教育の普及により、労働者の知識と技能が向上し、生産性の向上に貢献した。

日本資本主義の発展は、社会正義の実現を促進した。労働者は、より良い労働条件を要求し、賃金の向上を求めた。労働法は、労働者の権利を保護し、労働争議の解決を促進した。労働組合は、労働者の利益を代表し、労働条件の改善を求めた。また、教育の普及により、労働者の知識と技能が向上し、生産性の向上に貢献した。

財団法人協同会大阪支所

財団法人協同会大阪支所

日本ノ資本主義ノ主要源泉ノ一ハ、日本プロレタリアート及ビ農民ノ基本的大衆ノ眞ニ法外ナ搾取ニアツタ。ソノ労働ノ生産性ノ點デヘヨトロッパノ労働者ニモ劣ラナイ日本労働者階級ヘ、植民地労働者ノ状態ニアリ、本質上半奴隷デアリ、日本ノ資本カラ無慈悲ナ搾取ヲ受ケテキル。長イ労働時間ニ對スル機械的労働賃銀、寄宿制度ノ東洋、年期契約労働、社会立法ノ缺如ト完全ナ政治的無権利トコレヨソ日本労働者階級ノ状態ヲ特徴ヅケルモノデアル。

他方日本農民ノ壓倒的大衆ヘ本質上半農奴デアリ、金農業ハソノ性質ニ於テ任意ノ植民地國ノ半封建的制度ヲ想ヘシメル。

日本ニ於テハ、スベテノ封建的諸關係ガ決定的ニ粉碎サレルニ至ラナカツタ。ソレ故ニ資本主義ノ發展ヘ、當ニ國內市場ノ非常ナ狭サト衝突シテ來タ。日本資本ハソノ發展途上ニ於ケル全テノ封建的障害ヲ粉碎セズニ、前資本主義的諸關係ノ殘存物ヲ最大限ニ且ツ全面的ニ利用スル道ヲトツタ。資本主義的搾取ヘ、半封建的基礎ニ於ケル農民ノ